

年間行事案内

第22回企画展

葛西氏の興亡

会期 9月12日(土)～11月3日(火・文化の日)

 ※9月12日(土)、博物館開館記念日の10月10日(土)、
 東北文化の日の10月24日(土)～25日(日)、
 文化の日の11月3日(火・祝)は、無料でご覧いただけます。

源頼朝による平泉藤原氏滅亡以降、磐井郡をはじめとする5郡2保を領したことを足がかりに戦国大名化した葛西氏。しかし、豊臣秀吉による奥羽仕置きによって一気に没落し、葛西大崎一揆をもってその終焉を迎えました。展覧会は初代清重かざいおさきいっしから最後の当主晴信はるのぶまでを時代を追って良質な史料から紹介します。また、葛西氏の旧臣が江戸時代にどのような役割を果たしたかについても考証します。



伝葛西清重像

関連行事

❖ 講演会・対談

講演会①

「鎌倉御家人葛西清重と平泉」

 講師 谷口 榮氏
 (葛飾区郷土と天文の博物館学芸員)

期 日：9月26日(土)

時 間：講 演 13:30～15:00

館長対談 15:10～15:45

講演会②

「由緒にみえる葛西旧臣と地域社会」

 講師 中川 学氏
 (東北大学高度教養教育・学生支援機構専任講師)

期 日：10月25日(日)

時 間：講 演 13:30～15:00

館長対談 15:10～15:45

定 員：一般100名(申込み必要)

会 場：博物館

参加料：無 料

❖ 展示解説会

日 時： 9月12日(土) 13:30～14:15

9月26日(土) 15:50～16:30

10月10日(土) 13:30～14:15

10月25日(日) 15:50～16:30

テーマ展 ① **東北の土人形** ~菅原清蔵コレクション3~
 つちにんぎょう
 会期：4/25日(土)～6/14日(日) ※4/25日、5/17日は無料でご覧いただけます。

民芸コレクション「菅原清蔵コレクション」の400以上に及ぶ人形類の中から、花巻人形を中心に、堤人形、相良人形など、東北の土人形を紹介します。

一関出身の横綱「宮城山」の相良人形も展示します。

関連行事：

■展示解説会

日時：4月29日(水・昭和の日)
 午前10時30分～11時、午後1時30分～2時
 5月31日(日)
 午前10時30分～11時、午後1時30分～2時



花巻人形 猫

テーマ展 ② **開業90周年記念 大船渡線**
 おおふなとせん
 会期：7/4日(土)～8/23日(日) ※7/4日は無料でご覧いただけます。

大正14年(1925)7月26日に開業した大船渡線は、今年で90周年を迎えます。それを記念して、一関駅～気仙沼駅間を中心に、路線の歴史を振り返ります。

関連行事：

■大船渡線ツアー

大船渡線に乗って、文化施設を見学します。
 日時：8月23日(日)
 午前10時～午後4時(予定)
 定員：一般20名(申込み必要)
 参加料：実費(交通費、昼食代)



一関図書館脇にあるC58

■展示解説会

①7月11日(土) 午後1時30分～2時30分
 ②8月8日(土) 午後1時30分～2時30分

テーマ展 ③ **修験の世界**
 しゅげん
 会期：11/21日(土)～1/11日(月) ※11/21日は無料でご覧いただけます。

修験者とは山で修行をし、法力を身につけた者のことです。江戸時代以前には、村の身近なお堂や神社でお経や祝詞をあげていました。また、お祭りで神楽を舞ったのも修験がはじまりです。骨寺村荘園遺跡を中心に、修験者の活動を紹介します。



出羽三山碑

関連行事：

■展示解説会

日時：11月21日(土) ①午前11時～11時45分
 ②午後3時30分～4時15分
 12月6日(日) 午後3時10分～3時55分

テーマ展 ④ **没後30年 白石隆一** ~あこがれの欧州~
 しらいしりゅういち
 会期：1/30日(土)～4/3日(日) ※1/30日は無料でご覧いただけます。

千厩出身の洋画家 白石隆一(明治37年生～昭和60年没)の没後30年に当たり、還暦を迎えた白石が夫婦で出かけたヨーロッパ旅行の際に描いたスケッチ約350点を初公開します。

色鮮やかな小片スケッチは、旅の臨場感を伝えます。

関連行事：

■ギャラリートーク

2月6日(土)
 午前11時～11時40分/午後2時～2時40分
 2月7日(日)
 午前11時～11時40分/午後2時～2時40分
 3月5日(土)
 午前11時～11時40分/午後2時～2時40分
 3月6日(日)
 午前11時～11時40分/午後2時～2時40分



バス旅行スケッチ
 ~ローマからスイスまで~

● 講 座 ●

館長講座



- ①なぜ、義経は衣河館で最期を迎えたのか
6月7日(日) 午後1時30分～午後3時
- ②清衡・家衡の対立をもたらした二人の「乳母(夫)」とは
9月13日(日) 午後1時30分～3時
- ③骨寺村絵図に描かれた駒形根と六所宮について(続)
12月6日(日) 午後1時30分～3時

講師：入間田宣夫(館長)

対象：一般50名(申込み必要) 参加料：無料

和算講座 (一般編)

千葉胤秀編『算法新書』を通して和算の初歩に親しみます。

講師：岩手県和算研究会

日時：①6/13 ②7/11 ③8/8
 ④9/19 ⑤10/17
 ⑥11/14 ⑦12/12

の各土曜日午後1時30分～3時

定員：一般36名(申込み必要)

参加料：300円



算法新書

和算講座 (研究編)

和算書『算法助術』等を使用して江戸時代の数学を学びます。

講師：岩手県和算研究会

日時：①5/16 ②6/13 ③7/11
 ④8/8 ⑤9/19 ⑥10/17
 ⑦11/14 ⑧12/12 ⑨3/12

の各土曜日午前10時30分～12時

定員：一般36名(申込み必要) 参加料：300円



算法助術

古文書講座 (入門編)

当館所蔵の様々な古文書に触れて、読んでみませんか。初心者のための講座ですので、お気軽にご参加ください。途中参加も可能です。

講師：学芸員

日時：①5/17 ②6/14 ③7/12
 ④8/9 ⑤9/6 ⑥10/4
 ⑦11/1 ⑧12/13の各日曜日午後1時30分～3時

定員：一般36名(申込み必要) 参加料：300円



徳川綱吉条目案

古文書講座 (応用編)

当館所蔵の「通領公御乗出一件帳」を素材に、一関藩と幕府・諸大名との関係をひも解きます。連続して参加できる方を募集します。

講師：学芸員

日時：①5/17 ②7/12 ③9/6 ④11/1
 の各日曜日午前10時30分～12時

定員：一般20名(申込み必要) 参加料：300円



通領公御乗出一件帳

● 体 験 学 習 ●

グラスペインティング(ガラス絵)に挑戦

透明な板ガラスの裏側から絵を描く「ガラス絵」に挑戦してみませんか。ガラス絵は17世紀の半ばにオランダ商館長が初めて日本に伝えたと言われています。その美しさには、蘭学者をはじめ当時の人たちが目を見張ったことでしょう。大人の参加も歓迎です。



講師：学芸員
 日時：5月9日(土)、5月10日(日)
 各日とも午前の部は午前9時開始、12時まで
 午後の部は午後1時開始、4時まで
 定員：小学3年生以上各回15名。(付き添いの保護者もご参加ください。申込み必要)
 参加料：300円(1人)

カメラマンと楽しむピンホールカメラ

レンズもないのに撮影できるピンホールカメラ。プロカメラマンを講師に、ピンホールカメラを手作りし、撮影をします。針穴(ピンホール)を通して映し出される不思議な写真を楽しみましょう。



講師：阿部和史氏(フォトグラファー)
 日時：6月6日(土)
 午前9時15分開始、午後4時30分まで
 定員：中学生以上、15名(申込み必要) 参加料：500円 昼食は各自

はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

①江戸時代のうつし絵をつくろう

日時：7月25日(土)
 午前10時～12時、
 午後1時～3時の間随時
 (所要時間約1時間)
 定員：50名(申込み不要)
 参加料：50円(材料費)



②牛乳パックで望遠鏡をつくろう

日時：9月20日(日)午後1時30分開始
 (午後4時まで)
 持ち物：1ℓの牛乳パック2個
 定員：親子25名(申込み必要)
 参加料：500円(材料費)

③和紙を染めてみよう

日時：1月9日(土)
 午前10時～12時、
 午後1時～3時の間随時
 (所要時間約1時間)
 持ち物：なし。汚れてもいい服装でおこし下さい。
 定員：50名(申込み不要)
 参加料：50円(材料費)



対象：各回とも小学生以上(小学生は保護者同伴)

史跡めぐりー磐井の石めぐり

市内周辺に点在する巨岩、巨石、石造物をめぐり、古来からの信仰にふれます。市のバスで移動します。詳細は、後日広報等でお知らせします。

日時：①10月3日(土)、②10月18日(日)
 午前9時～午後4時(予定)
 定員：一般25名(申込み必要)
 参加料：無料



白山妙理大権現(舞川)

あなたも刀鍛冶修業

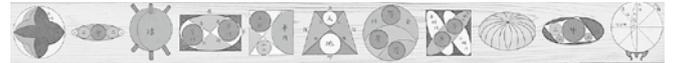
ファイゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(火花が散りますので、作業がしやすい服装でおいで下さい)

講師：早坂政義氏(刀匠)
 日時：10月3日(土)午後1時～4時
 定員：小学5年生以上一般20名
 (申込み必要)
 参加料：200円(材料費)



和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



日時：12月1日(火)に問題と応募要領を公表、郵送で解答を受け付けます。

締め切り…1月20日(水)消印有効

定員：どなたでも、応募者には3月末日までに解答集をお送りします。
 表彰式：2月28日(日)午後1時30分～3時

● ツ ア ー ●

博物館ツアー

当館常設展示「玄沢と蘭学」を見学後、東北歴史博物館で開催の特別展「医は仁術」と仙台市博物館の特別展「国宝吉祥天女が舞い降りた!展」を見学します。

日時：6月10日(水)
 午前9時～午後4時30分(予定)
 博物館集合解散
 定員：38名(申込み必要)
 参加料：3,000円程度
 (入館料・昼食代)



飲食養生鑑(国立科学博物館蔵)

美術館ツアー

当館企画展「葛西氏の興亡」を見学後、秋田県立近代美術館で開催の特別展「滝平二郎の世界展」を鑑賞に出かけます。

一関市博物館では「葛西氏の興亡」展の解説、また、滝平二郎の「きりえ」や版画についての事前学習を当館学芸員を講師として行います。

博物館、美術館での作品鑑賞ができる年齢であれば、児童・生徒の参加も歓迎です。小学生以下は保護者同伴でご参加下さい。

日時：10月17日(土)午前9時～午後5時(予定)
 定員：60名(申込み必要)
 参加料：1,000円 昼食は各自



滝平二郎「花さき山」

©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.

常設展示

通史展示

●一関のあゆみ [過去から未来への展望]

原始・古代から現代まで、一関を中心とする地域の歴史の流れと特色を紹介します。中世荘園骨寺村に関する展示も加わり、未来への展望を開く展示となります。



【和算】一関八幡神社算額 (復元)



伊達政宗直筆扇面 (表・裏)



【言海】言海初版本



【蘭学】蘭学階梯初版本



若手県指定文化財 木造阿弥陀及び菩薩像



【刀剣】太刀 銘 舞草

テーマ展示

① 舞草刀と刀剣 [日本刀の源流・舞草刀]

日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。

② 玄沢と蘭学 [蘭学者大槻玄沢の業績]

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介します。

③ 文彦と言海 [本格的国語辞書の著者]

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人と業績について、映像を用いながら紹介します。

④ 一関と和算 [和算隆盛の地一関]

一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。



中世荘園骨寺村ブース

ながめまもりよし 長沼守敬 作品の世界

明治時代に活躍した一関出身の洋彫刻家、長沼守敬の作品を紹介します。



《老夫》岩手県立美術館所蔵

入館料

区分	料金	団体(20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき 160円
一般	300円	1人につき 240円

※市内65歳以上の方と身障者手帳等をお持ちの方は、入館料が免除されます。

◆共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

企画展、テーマ展の開催初日/国際博物館の日の5月17日(日)/開館記念日の10月10日(土)/東北文化の日の10月24日(土)、25日(日)/文化の日の11月3日(火・祝)は **無料** でご覧いただけます。

休館日

- 毎週月曜日(祝日の時は翌日)
- 資料整理のための休館日 12/18(金)~12/27(日)
- 年末年始 12/28(月)~1/4(月)

博物館までの所要時間

●自動車

一ノ関駅より 約17分(9km)

一関ICより 約7分(5km)

※一ノ関駅から路線バスで約20分(巖美溪バス停下車徒歩7分)



各交通手段と所要時間

●JR東北新幹線

東京⇄一ノ関 約1時間58分

盛岡⇄一ノ関 約23分

仙台⇄一ノ関 約21分

●東北自動車道

浦和IC⇄一関IC 約4時間30分(420km)

仙台宮城IC⇄一関IC 約1時間(88km)

盛岡IC⇄一関IC 約1時間(92km)

開館時間

午前9時~午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)